

一般国道432号 大庭バイパスの一部を開通しました

【事業概要】

一般国道432号は広島県竹原市を起点とし、島根県松江市に至る延長約210kmの路線であり、「広域幹線」に位置づけられています。大庭地区においては、車輛の通行が1日あたり12,000台程度にまで達し、朝夕には渋滞が発生しており、また、歩道がほとんど整備されていないため、歩行者や自転車の通行に支障が生じています。

この大庭バイパスについては、平成23年度より事業に着手しているところですが、このたび、土地区画整理事業と連携して完成したバイパス区間を暫定的に現在の国道に取り付け、平成27年9月1日に一部開通をいたしました。

これにより、開通区間では歩道と車道が分離され、交通の円滑化と歩行者・自転車の安全性の向上が図れます。

未整備区間についても、一日も早い完成を目指し、工事の進捗に努めてまいります。



【開通後の様子】

平成27年9月1日の早朝に現道と山代町の接続部（写真①）を仮設道路でつなぎ、一部開通しました（L=約750m）。開通したバイパス区間では、土地区画整理事業で整備された敷地に続々と店舗が建設され、多くの利用で賑わっています。また歩道を整備したことにより、通勤・通学される利用者の方々が安心して通行できるようになりました。

この度の一部開通により、この地区の賑わいが益々大きくなるよう期待しています。

